

令和3年度 下田地域ケアプラザPDCAシート_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

包括担当エリアは、日吉地区の西部に位置しており、高齢化率も23%を超えております。さらに認知症の方（特に認知症自立度Ⅱ以上の方）の割合も増加傾向にあります。このことから、地域住民に対して、認知症に関する理解や啓発を促進し、地域住民の支え合いを支援する必要があります。（JAGESによる地域診断の結果からも、「うつ」「認知症」「閉じこもり」のリスクが高まることも予想されている。）
 また一方で、若い世代の転入出も多く、0～64歳の人口は、数年前より減少傾向となっています。子育て世代については、慣れない土地での生活に不安を感じる親も多いことから、それに伴って、地域の子育て支援活動が活発な地域でもあります。
 地理的な面でも、山坂が多く、車両の通行困難な細道が幾筋もあることから、今後高齢化が進むにつれて、外出や買い物等に対するリスクも高まることから、日々の生活支援に関する取り組みも必要と考えます。
 このような状況を踏まえて、今年度も引き続き、以下の重点的な取り組みとして、まずは、地域ケアプラザの基本的な機能や役割をしっかりと地域住民に理解してもらい、各分野ごとの事業を積極的に優先して行います。
 なお、新型コロナウイルスの影響により、在宅生活を長期的に強いられている要援護者の把握も随時行いながら、フレイル予防のための活動を重点的に行う必要性もあると考えます。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域の身近な相談窓口としての機能強化 ・広報紙や施設独自のホームページ等を活用。 ・各種事業を通じて、相談窓口をPRする。 ・地域の行事等へ訪問した際にPR。 ・出張相談会の開催方法を工夫し、アウトリーチを強化する。 ・施設機能を記したチラシの配架。（近隣の関係機関など） ・情報ファイルの作成・更新時には会議等で説明に共有に努める。 ・広報紙以外の媒体(SNS)を活用した周知の継続。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	認知症支援の強化 ・総合相談や住民からの情報提供を適切にフォローし、医療や見守り、活動の場に繋げる。 ・認知症初期集中支援チームとの連携。 ・出張相談会等を随時行い、気軽に相談できる環境を整える。 ・開業医らと連携しながら支援につなげる。 ・認知症に対する講座を実施し、意識向上に努める。 ・介護者のつどいをもっと活用してもらおうよう関係機関と検討する。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	介護予防の取り組みの推進 ・ケアマネジャー向けの介護予防業務の研修の実施。 ・インフォーマル情報冊子の情報を定期的に発信する。 ・本人との信頼関係の構築と日ごろのコミュニケーションにより介護予防への意欲を引き出していく。 ・屋外での体操など活動の場を設け心身機能の維持に努める。 ・毎週木曜日のラジオ体操や椅子に座っての体操教室、健康ウォーキングを開催。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

区からのコメント

令和3年度下田地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	<p>指定管理者としての公正・中立性や福祉に携わる者として、法人倫理規定その他の方針・指針、毎年実施する「利用者アンケート」等を活用し、人権意識や維持向上に努めます。なお、各種ミーティングや事例検討の場も、自らの姿勢の振り返りの機会として役立てます。</p> <p>また、日々得られる情報についても、施設独自の広報紙やホームページをはじめ、様々な情報発信媒体を利用することや、地域の会合や事業などにも参加して、直接の対話も心掛けながら、情報発信できるように努めます。さらに、施設利用に関しても、貸館や自主事業に誰もが分かりやすく利用参加できるよう、定例会議等を活用して、常に利用者への対応方法等を話し合い、適宜修正改善を重ねながら、利用者本位の施設を目指します。</p>	<p>・施設内における定例の各種会議や事故防止委員会の場で振り返りや対策等を随時検討します。また、日々の職員ミーティングの場でもヒヤリハット他細かな気付きも含めた情報を共有し、意識の高揚と事故防止に努めます。</p> <p>さらに、横浜市より定期的に配信される、市内の事故報告や法人内の4ケアプラザの事故事例やヒヤリハット等も事故防止対策として活用します。</p> <p>・法令及び法人の個人情報規定に基づき、適切に対処すると共に、内部の各種会議等の場を活用して、全職員への研修を行い、注意喚起と意識啓発に努めます。また、定期的にマニュアルの点検も併せて行っていきます。</p>
実績		

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	<p>本人の思いどおりの生活が送れるよう実現可能な目標に向かって、できないことを補うのではなく、本人の行動変容につながるよう環境を整え、生活機能低下の背景を分析・課題を明らかにして、悪循環から好循環に転換できるように支援します。また、地域の特性を活かした仕掛けづくりを考え地域力を高めていきます</p>	<p>利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、利用者が自立した日常生活を営むことができることを目標として、居宅サービス計画を作成し、サービスを総括的効率的に提供するための連絡調整を行います。</p>
利用料金・実費負担	<p>通常のサービス提供地域を超える地域に訪問・出張する必要がある場合には、その交通費(実費)の支払いをお願いすることがあります。</p>	<p>通常のサービス提供地域を超える地域に訪問・出張する必要がある場合には、その交通費(実費)の支払いをお願いすることがあります。</p>
職員体制	<p>主任介護支援専門員:1人 社会福祉士:1人 看護師:1人 介護支援専門員:2人(非常勤)</p>	<p>介護支援専門員 3人(常勤専従3人)</p>
契約者数		

3 通所系サービス事業

	通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)	認知症対応型通所介護 (介護予防・通所介護)	地域密着型通所介護 (介護予防・通所介護)
目標	利用者が自立した日常生活を営むこと及び利用者の家族の負担を軽減することを目標に、利用者の心身の特性を踏まえ、その能力に応じて、入浴・排泄・食事等の介護等を行うとともに、機能訓練を実施します。また、利用者の家族に対し、必要に応じて、介護方法等について助言します。		
実施体制	【実施日数】 週7日 【提供時間】 9:15~16:20 【定員】 40人	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金・実費負担	<ul style="list-style-type: none"> ●1割負担分(サービス提供体制加算Ⅱ・中重度者ケア体制加算を含む) (要介護1) 824円/回 (要介護2) 951円 (要介護3) 1,085円 (要介護4) 1,218円 (要介護5) 1,352円 ●認知症加算1割負担分 65円/回 ●入浴加算1割負担分 43円/回 (2・3割負担のご利用者からは2・3倍額いただきます) ●介護職員処遇改善加算 総額の2.3% ●食費負担 750円/食 ●通常に事業実施地域を越えて送迎を行う場合の交通費 越えて1km(道程)まで片道 100円 2kmまで 200円 4kmまで 300円 4km超 400円 ●特別な行事等に係る経費については、事前に説明した上で、希望者にご負担いただきます。 		
職員体制	生活相談員兼介護職員:2人 看護職員:5人 介護職員:14人 運転手:8人		
契約者数等	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和3年度「横浜市下田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	17,610,191		17,610,191		17,610,191	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）			0		0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他			0		0	
その他	3,733,809		3,733,809		3,733,809	
収入合計	21,344,000	0	21,344,000	0	21,344,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	12,540,000	0	12,540,000	0	12,540,000	
本俸	9,300,000		9,300,000		9,300,000	
社会保険料	1,090,000		1,090,000		1,090,000	
手当計	1,900,000		1,900,000		1,900,000	
健康診断費	50,000		50,000		50,000	
勤労者福祉共済掛金			0		0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	200,000		200,000		200,000	
その他			0		0	
事務費	600,000	0	600,000	0	600,000	
旅費	20,000		20,000		20,000	
消耗品費	100,000		100,000		100,000	
会議賄い費			0		0	
印刷製本費			0		0	
通信費	100,000		100,000		100,000	
使用料及び賃借料	50,000	0	50,000	0	50,000	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	21,120		21,120		21,120	
その他	28,880		28,880		28,880	
備品購入費			0		0	
図書購入費			0		0	
施設賠償責任保険	50,000		50,000		50,000	
職員等研修費	10,000		10,000		10,000	
振込手数料	10,000		10,000		10,000	
リース料	200,000		200,000		200,000	
手数料			0		0	
地域協力費	3,600		3,600		3,600	
その他	56,400		56,400		56,400	
事業費	480,000	0	480,000	0	480,000	
運営協議会経費	42,000		42,000		42,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	438,000		438,000		438,000	
その他			0		0	
管理費	6,300,000	0	6,300,000	0	6,300,000	
光熱水費	4,000,000		4,000,000		4,000,000	
清掃費	1,500,000		1,500,000		1,500,000	
機械警備費	120,000		120,000		120,000	
設備保全費	580,000	0	580,000	0	580,000	
空調衛生設備保守	300,000		300,000		300,000	
消防設備保守	50,000		50,000		50,000	
電気設備保守	80,000		80,000		80,000	
害虫駆除清掃保守	30,000		30,000		30,000	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	120,000		120,000		120,000	
共益費			0		0	
その他	100,000		100,000		100,000	
修繕費	474,000		474,000		474,000	予算：指定額
公租公課	950,000	0	950,000	0	950,000	
事業所税			0		0	
消費税	950,000		950,000		950,000	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	21,344,000	0	21,344,000	0	21,344,000	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	438,000	0	438,000	0	438,000	
自主事業 収支	△ 438,000	0	△ 438,000	0	△ 438,000	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	21,120	0	21,120	0	21,120	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	△ 21,120	0	△ 21,120	0	△ 21,120	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和3年度「横浜市下田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（特別会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	24,291,000		24,291,000		24,291,000	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000		154,000	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,802,000		5,802,000		5,802,000	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			0		0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他			0		0	
収入合計	30,247,000	0	30,247,000	0	30,247,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	25,762,000	0	25,762,000	0	25,762,000	
本俸	14,700,000		14,700,000		14,700,000	
社会保険料	3,900,000		3,900,000		3,900,000	
手当計	6,400,000		6,400,000		6,400,000	
健康診断費	112,000		112,000		112,000	
勤労者福祉共済掛金	650,000		650,000		650,000	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額			0		0	
その他			0		0	
事務費	1,420,000	0	1,420,000	0	1,420,000	
旅費	45,000		45,000		45,000	
消耗品費	300,000		300,000		300,000	
会議賄い費			0		0	
印刷製本費			0		0	
通信費	490,000		490,000		490,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0		0	
その他			0		0	
備品購入費			0		0	
図書購入費			0		0	
施設賠償責任保険	50,000		50,000		50,000	
職員等研修費	50,000		50,000		50,000	
振込手数料	15,000		15,000		15,000	
リース料	400,000		400,000		400,000	
手数料			0		0	
地域協力費			0		0	
その他	70,000		70,000		70,000	
事業費	1,119,000	0	1,119,000	0	1,119,000	
協力医	630,000		630,000		630,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	255,000		255,000		255,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000		154,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	80,000		80,000		80,000	予算：指定額
その他			0		0	
管理費	1,820,000	0	1,820,000	0	1,820,000	
光熱水費	1,000,000		1,000,000		1,000,000	
清掃費	550,000		550,000		550,000	
機械警備費	30,000		30,000		30,000	
設備保全費	180,000	0	180,000	0	180,000	
空調衛生設備保守	90,000		90,000		90,000	
消防設備保守	10,000		10,000		10,000	
電気設備保守	20,000		20,000		20,000	
害虫駆除清掃保守	10,000		10,000		10,000	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	50,000		50,000		50,000	
共益費			0		0	
その他	60,000		60,000		60,000	
修繕費	126,000		126,000		126,000	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	30,247,000	0	30,247,000	0	30,247,000	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	489,000	0	489,000	0	489,000	
自主事業 収支	△ 489,000	0	△ 489,000	0	△ 489,000	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和3年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名: 下田地域ケアプラザ

令和3年4月1日~令和4年3月31日

(単位: 千円)

科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入															
介護保険収入	7,500			7,500		7,500	17,000		17,000	69,200		69,200	2,800		2,800
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18,800	0	18,800	1,300	0	1,300
事業・負担金収入			0			0			0	16,900		16,900	1,300		1,300
利用者等外給食収入			0			0			0	1,900		1,900			0
			0			0			0			0			0
			0			0			0			0			0
			0			0			0			0			0
その他			0			0			0			0			0
収入合計(A)	7,500	0	7,500	7,500	0	7,500	17,000	0	17,000	88,000	0	88,000	4,100	0	4,100
支出															
人件費	5,238		5,238			0	15,230		15,230	61,180		61,180			0
事務費	215		215			0	825		825	5,557		5,557			0
事業費			0			0	73		73	7,933		7,933			0
管理費			0			0	140		140	14,840		14,840			0
その他	3,000		3,000	3,000	0	3,000	0	0	0	3,734	0	3,734	0	0	0
利用者負担軽減額			0			0			0			0			0
消費税			0			0			0			0			0
介護予防プラン委託料	3,000		3,000	3,000		3,000			0			0			0
施設使用料負担額			0			0			0	3,734		3,734			0
			0			0			0			0			0
			0			0			0			0			0
その他			0			0			0			0			0
支出合計(B)	8,453	0	8,453	3,000	0	3,000	16,268	0	16,268	93,244	0	93,244	0	0	0
収支 (A)-(B)	-953	0	-953	4,500	0	4,500	732	0	732	-5,244	0	-5,244	4,100	0	4,100

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和3年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）		■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他	
---	--	---	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	公園でラジオ体操	令和2年度	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	新型コロナウイルスによる自粛期間が長期化したことによる筋力の低下を防ぐほか地域の住民の情報交換の場として下田4丁目公園・日吉本町駅前の2会場にて実施	5:地域		ラジオ体操の実施		
2	子育てサロンすてっぷ	平成15年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	子育て経験の浅い親とその子供たちを主な対象として子供たちを遊ばせながら情報交換の場を提供するとともに子育ての知識を獲得する機会を提供する	3:養育者及び乳幼児		子育てサロン(情報交換の集い)		
3	日吉第二ハイム	平成28年度	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	日吉第二ハイムに入居している住民の方を対象とした交流サロン。職員が出張し介護予防や制度の情報交換をおこなう。日吉第二ハイム管理組合主催。	5:地域		茶話会、ケアプラザ職員による講話		
4	喫茶マロニエ亭	平成13年度	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	地域の自立高齢者を主な対象に社会性を保つための外出先の確保と身近な健康チェックを提供する	1:高齢者		自立高齢者向けミニデイサービス		
5	おはなしもだ	平成27年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	心の病を抱え外出先や悩みの掃き出し先を求めながら生活支援センターまでは通えない当事者や家族が集うサロン	2:障害児・者		精神講座「心の病について」		
6	認知症キャラバンメイト「おしゃべり丸官鳥」	平成30年度	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	認知症キャラバンメイトと共にサポーター養成講座を開催し地域住民へ認知症に対する理解を深めると共にサポーターとして支える側になってもらうよう、講座を企画、運営する	5:地域		認知症サポーター養成講座の企画・運営		
7	下田剪定塾	平成31年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	剪定の知識を伝授し、自宅等の庭木の手入れに関心を深める。剪定の実践の場としてケアプラザの樹木を活用し将来的には剪定のボランティアの発足をを目指す	5:地域		剪定		
8	下田おさんぽ会	令和2年度	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	新型コロナウイルスによる自粛期間が長期化したことによる筋力の低下を防ぐほか地域の住民の情報交換の場として屋外で企画。昨年度の「しもだ健康ウォーキング」よりもハードルを下げ、気軽に参加ができるようにする	1:高齢者		ウォーキング(散策)		
9	イスに座って健康体操	令和2年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	新型コロナウイルスによる自粛期間が長期化したことによる筋力の低下を防ぐ目的でイスに座ってでもできる体操を紹介する	1:高齢者		体操		
10	お食事処すずらん	平成15年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	地域の独居高齢者を主な対象に社会性を保つための外出先の確保とバランスの良い食事を提供する。	1:高齢者		独居高齢者食事会		
11	下田メモリーカフェ	平成29年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	認知症のある方の通いの場、家族同士の情報交換、相談の場。支援をする方を含めた地域住民に認知症理解の浸透の場を提供	1:高齢者		ボランティア下田、地域のボランティアと共に開く認知症カフェ		
12	男の料理教室	平成31年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	下田町で活動されていた「えんがわの家よってこ下田」の閉鎖に伴い事業の継続をサポートするとともに定年後の男性を主な対象として自立して料理ができるよう講座を企画する	5:地域		ダシの取り方や魚のさばき方などシェフによる講座		
13	冬休み書初め練習教室	平成21年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域ケアプラザが高齢者だけの施設ではないことを周知するとともに学校の長期休暇を利用し児童生徒が参加できる交流の場を提供	4:子ども・青少年		冬休みの宿題である「書初め」の練習		
14	下田式事例検討会	平成30年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	平素より関わりのあるケアマネージャー同士のスキルアップや情報交換等を目的とした事例検討会を実施。	6:事業者		参加者に事例を提供してもらい、その事例を基に「パーソン・センタード・アプローチ」という手法で事例検討会を実施。8月を除く偶数月の第4週木曜日に実施		
15	ひよしもケアマネ倶楽部	令和元年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	日吉地区の居宅介護支援事業所と協働でスキルアップのための勉強会を実施	6:事業者		参加の居宅介護支援事業所と年間テーマを決め勉強会を実施。		
16	しもだ畑プロジェクト	令和3年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	新型コロナウイルスによる自粛期間が長期化したことによる筋力の低下を防ぐほか地域の住民の情報交換の場として下田町のシェア畑を利用し畑作業をおこなう	5:地域		畑作業		

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）		■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他	
---	--	---	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
17	親子de芋ほり体験会	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域の親子同士の交流を目的に新田地区の畑にて芋ほりを実施	4:子ども・青少年		芋ほり(ジャガイモとサツマイモ)を計画		
18	ケアプラザまつり「ケアプラザへ行こう2021」	平成14年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	地域住民の交流の場として、ケアプラザを周知すると共に貸館利用団体及びデイサービス利用者の作品展示を行う。	5:地域		貸館利用者・デイサービス利用者の作品展示・日吉を中心に活動されている人形劇の講演など。新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ開催を判断		